

<https://nanao-sh.metro.ed.jp/site/zen/>

暑い夏の日も徐々に終わりを告げ、秋の気持ちの良い風が感じられる日が目立ってきました。過ごしやすい気候の中で、児童・生徒も学習活動に励んでいます。季節の変わり目で体調を崩すことがないように、どうぞ気を付けてお過ごしください。

今号では、「デジタル活用端末」と「統合型学習支援サービス (Microsoft Teams)」について、夏季研修「ICT 機器の実践的な活用方法について」、「デジタル活用端末」を用いた授業と「GIGA 端末アプリ」の紹介をします。



ICT機器の紹介



デジタル活用端末とは、児童・生徒に対してではなく、教員に対して配備されている、一人1台端末のことです。統合型学習支援サービス (Microsoft Teams) の利用もでき、教員同士での教材の共有や同時使用も可能です。キーボードの着脱や充電がスムーズである点を重視して、純正キーボードを仕様に入れてあります。使用している Surface Go2 は他端末に比べ起動時間が早く、操作性の良さが授業の質・向上にもつながると評価され、導入に至りました。

デジタル活用端末を効果的に活用し、あらかじめ作成したデータを利用することにより、今までは板書にかけていた時間を、児童・生徒が活動する時間に長くとれるようになりました。



ICT機器の実践的な活用方法についての研修

夏季休業中、教員を対象にした ICT 機器の実践的な活用方法についての研修がありました。一般社団法人 SOZO.Perspective 代表理事の海老沢さんをお招きし、前半は ICT 機器をコミュニケーションツールとして積極的に活用することについての講話を、後半は実際にタブレット端末を使ったワークを行いました。

ワークの中で印象的だったのが、イラストを並べて文章にし、それを音声で読み上げてくれる「DropTap」というアプリです。実際に児童が日常的に使用している動画や、児童同士のやり取り遊びで使っている動画を見たのですが、このように学習や日常の中でタブレット端末をツールとして使うことができるという、新たな学びがありました。他にも、タブレット端末のアクセシビリティ機能を活用し、児童・生徒が使うアプリのアイコンだけホーム画面に表示する方法や、「Padlet」という画像生成 AI 機能の使い方など、すぐに実践できるアイデアを多く学ぶことができました。





ICT機器の活用



小学部3年のグループ国語・算数の授業の一つとして、モニターとデジタル活用端末を使用して、平仮名の書き方の学習を行っています。書き順のアニメーションを見て、その場で一緒に指を動かし、書く順番を覚えてから前に出て、ホワイトボードに文字を書きました。分からなくなったら、ループ再生している書き順のアニメーションを見たり、見本をなぞって確認してみたりと、全員が正しい書き順で平仮名を書くことができました。文字を書くことが初めての児童や、なぞりであれば文字を書くことができる児童も、正解することで達成感を得て、自信をもって平仮名を書くことができるようになりました。



アプリの紹介

GIGA端末にも入っているアプリに『なぞっておぼえる！ひらがなカタカナ』というものがあります。平仮名・カタカナの形と書き順を正しく楽しく学べるなぞり書きアプリです。ペン先がうさぎや飛行機などのキャラクターで、なぞると一緒に動くので楽しみながら取り組むことができます。また、スコアを貯めるとペン先のキャラクターがどんどん獲得できるので、飽きずに行えます。

こちらのアプリの利点は、途中で正しい線から外れるとやり直しになることです。始点と終点だけ合っていれば正解と判定される事がないので、平仮名・カタカナの正しい形、正しい書き順を覚えるのには非常に有効なので、多くの学年が国語・算数などで使用しています。



<アプリ画面の一例>

